

中部地方幹線道路協議会の取り組みについて

(道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定)

【道路啓開】

- 近い将来の発生が懸念されている東海・東南海・南海地震などの大規模地震に備え、中部地方幹線道路協議会に「道路管理防災・震災対策検討分科会」を設置
- 中部管内の道路管理者間で相互に協力し、被害の最小化を図る方策を検討
- 国、県、政令市等の関係機関が一体となって、「早期復旧支援ルート確保手順(中部版 くしの歯作戦)」を策定
- 南海トラフの巨大地震による地震動・津波高の公表を踏まえ、早期復旧支援ルート等を再整理

平成23年度

・早期復旧支援ルート確保手順(中部版 くしの歯作戦)の策定

平成24年度

・中央防災会議(内閣府)による南海トラフの巨大地震による地震動や津波高さの公表
・各県において、今後、新たな津波浸水想定を公表

・前提条件の見直しに伴い、平成23年度に検討した早期復旧支援ルート等を再整理

早期復旧支援ルートの再整理

- ・耐震対策等の状況把握
- ・市町村要望の把握
- ・重要拠点・防災拠点へのアクセス
- ・道路啓開サポートマップの作成

津波浸水想定公表による見直し

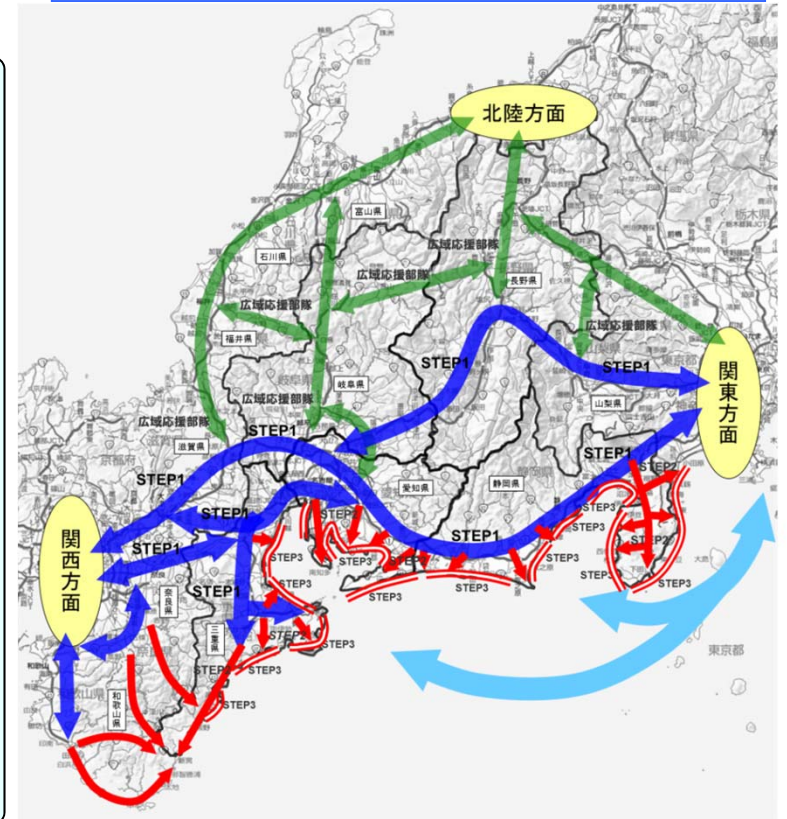
道路啓開手順等の具体化

- ・役割分担(国、県、災害協定業者)
- ・情報連絡体制の整備
- ・事前対策・復旧方法等の検討

防災訓練(H25.1~2)

全体とりまとめ(H25.3)

◇早期復旧支援ルート確保手順(中部版 くしの歯作戦)を策定



航路啓開のオペレーション計画の策定

(道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定)

- 中部地方整備局と第四管区海上保安本部は、愛知県・三重県の港湾の航路啓開活動を連携して行うことの「申し合わせ」を締結するとともに、航路啓開活動手順(案)を作成(平成23年度)
- 大規模災害に対する港湾物流機能の継続と早期復旧のための計画(港湾BCP)の策定に向け、まず港湾の初動体制として、伊勢湾・三河湾内における海上からの緊急物資輸送ルート(案)(伊勢湾「くまで」作戦(仮称))を提示
- 港湾管理者、国、地元自治体、民間団体等の関係機関と協力の上、具体的航路啓開オペレーション計画を策定予定(各港「港湾BCP協議会」を設置予定(今年度内))

航路啓開のオペレーション策定のスケジュール(案)

平成24年度

【緊急物資輸送にかかる行動計画(案)の策定】

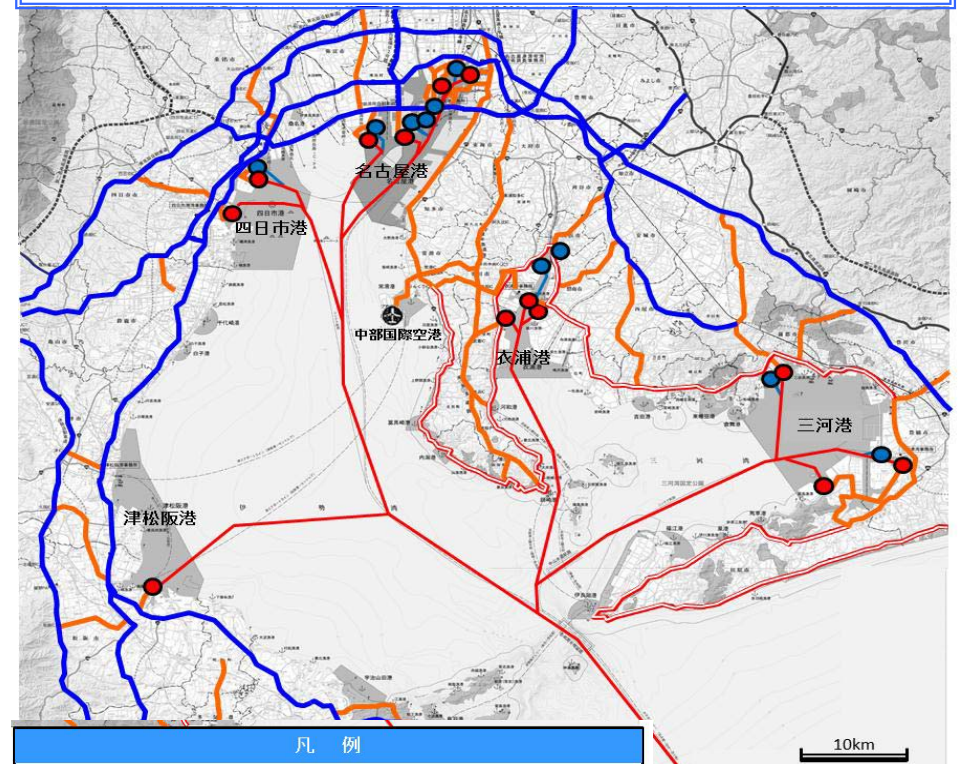
- 緊急物資輸送ルート(案)の確保
 - ・各港の航路(陸上)啓開を実施し、海上(陸上)輸送ルートを確保(早期復旧支援ルート「中部版くしの歯作戦」との連携)
- ↓
- 被災状況の調査行動計画・体制(案)の作成(航路・陸路)
- 対象被災箇所別の復旧行動計画・体制(案)の作成
 - 航路啓開活動手順の具体的検討及び道路啓開のオペレーション計画等との調整
- ↓
- 緊急物資輸送にかかる行動計画体制(案)の作成
- 広域連携方策の検討



平成25年度以降

- 緊急物資輸送にかかる行動計画(案)の充実
- 産業貨物輸送にかかる行動計画(案)の作成・充実
- 広域連携方策の充実

伊勢湾・三河湾内における緊急物資輸送ルート(案) ～伊勢湾「くまで」作戦(仮称)～



凡 例	
【海上からの「くまで」作戦】	【道路啓開「くしの歯」作戦】
第一次緊急輸送航路	高規格幹線道路等の広域ネットワークライン (STEP1)
第二次緊急輸送航路	太平洋沿岸部に繋がるライン (STEP2)
公共耐震強化岸壁 (整備済、整備中)	太平洋沿岸沿いのライン (STEP3)
公共岸壁 (水深7.5m以上)	

濃尾平野を対象とした排水計画(案)(河川部)

(道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定)

- 洪水・高潮の複合災害や津波による濃尾平野の広域な浸水被害を想定し、道路啓開等を考慮しつつ、具体的な堤防復旧・排水計画について検討
- 防災拠点、防災ステーション、堤防天端道路等の活用と排水ポンプ車の的確な配置により、迅速かつ確実に排水を実施

<排水作業手順>

浸水想定計算

- ・堤防天端道路、河川敷道路、防災ステーション、防災拠点、地域拠点(役所、病院等)、高速道路、主要国道、港湾等の浸水状況整理

堤防緊急復旧計画(概ね3日以内)

- ・海域との遮断方法
- ・浸水エリア外からの進入ルート確認
- ・堤防緊急復旧計画(資機材、復旧工法)

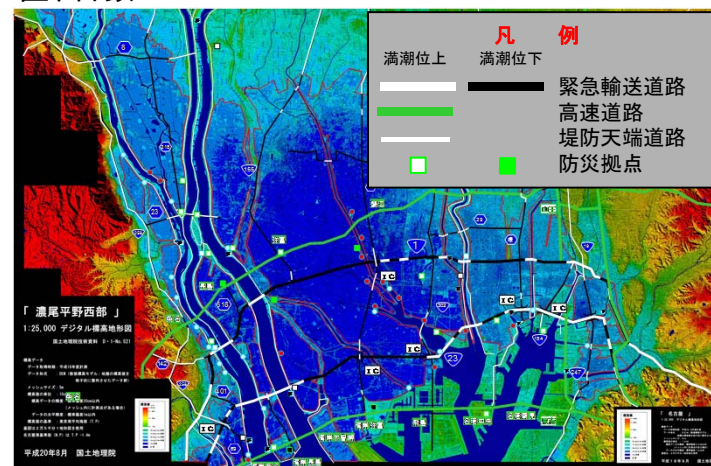
ポンプ排水計画(概ね2週間以内に排水完了を目指す)

- ・排水ブロック割
- ・必要排水量
- ・排水ポンプ車の配置位置、台数



【排水計画(案)の概要】

1. 海域との遮断、堤防の緊急復旧(仮設含む)等の工法
2. 破堤箇所の緊急復旧経路の確保(緊急河川敷道路・堤防道路の活用等を含む)、緊急復旧の手順等の確認(資材・重機の調達と搬入含む)
3. 効率的な排水を行うため、地形及び既設排水機場等の把握と、排水ポンプ車の配置計画の策定
4. 防災ステーション・資材集積場等の把握及び配置計画の策定



濃尾平野の進入路・拠点等位置図